

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横浜油脂工業(株)秦野工場増築工事(倉庫・化成品棟)	階数	地上2F
建設地	秦野市堀山下字松葉380番7外17筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	14人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年9月2日
敷地面積	6,022 m ²	作成者	松浦建設一級建築士事務所
建築面積	3,000 m ²	確認日	2019年9月5日
延床面積	3,187 m ²	確認者	松浦建設一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値 100%, ②建築物の取組み 74%, ③上記+②以外の 74%, ④上記+ 74%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 4
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	N.A.
耐用性	2.8
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	1.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.4
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	4.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
工業専用地域の工場敷地内に倉庫・工場を増築する計画。	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
0	耐用年数の長い配管材料を採用している。 倉庫・工場は将来の変更を考慮してゆとりのある空間としている。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用し、エネルギー消費量を抑えている。	節水コマ、節水型便器を採用し、水資源保護に配慮している。	燃焼機器を採用しておらず、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される